

リンゴわい性台木‘青台3’利用樹の栽培特性

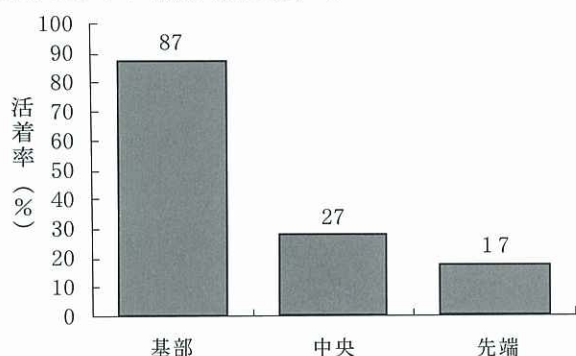
研究のねらい

わい性台木として主に使用されているM系台木は挿し木での繁殖が困難であるが、‘青台3’は挿し木繁殖が可能なわい性台木として選抜された。そこで、‘青台3’利用樹の栽培特性を明らかにし、普及のための参考とする。

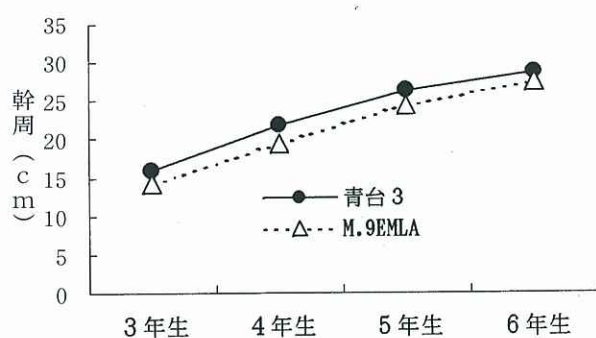
研究の成果

‘青台3’は‘マルバカイドウ’と‘M.9’を交配して育成した実生から、挿し木繁殖性の高いわい性台木として選抜された。平成13年に‘青台3’の名称で種苗登録された。

‘青台3’の挿し木活着率は1年枝の基部が高く、先端ほど低い。わい化度は‘M.9EMLA’や‘M.26EMLA’とほぼ同等である。疫病には抵抗性、高接ぎ病ウイルスのACLSVには感受性であり、耐水性は強い。



第1図 挿し木箱での青台3の活着率（3年平均）



第2図 ふじの幹周



6年生ふじ／青台3

発表資料

1. 新谷潤一 (1999). リンゴ新わい性台木の挿し木による育苗. りんご技術 59 : 7-9.
2. 育種部・病虫肥料部 (1998). リンゴ台木育成系統「青森台木3号 (AO.3)」の特性. 平成10年度指導奨励事項・指導参考資料等 : 74-75.
3. 栽培部・育種部 (2001). リンゴわい性台木「青台3」のわい化度. 平成13年度指導奨励事項・指導参考資料等 : 76-77.
4. 佐藤耕 (1996). 青森県におけるリンゴ新わい性台木の研究開発の現状と展望. 平成8年度果樹課題別研究会資料 (寒冷地果樹) : 1-4.